



第10号(令和2年3月発行)

おいしいとやま食べきり運動

食べきり通信

富山市では、家庭や外食時での食べ残しを減らし、おいしい富山の食材を食べきる「おいしいとやま食べきり運動」を展開中です。「食べきり通信」では、食べきるための様々な取り組みや活動などを紹介していきます。

フードドライブの実施について

フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、フードバンク団体を通じて、食品を必要としている福祉施設や福祉団体に届ける活動です。

まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品(いわゆる食品ロス)を削減できる、有効な取り組みです。

【みんなの消費生活展】

令和元年12月7日(土)に開催した「みんなの消費生活展」(富山市民プラザ)で、フードドライブを実施しました。平成29年度から始めて、今回で3回目の開催となりました。

来場された多くの皆様から、インスタント食品やお菓子など、多くの食品を提供していただきました。

【市職員向けフードドライブ】

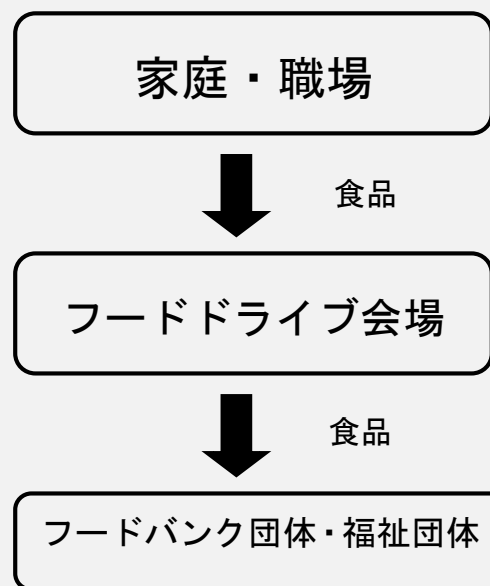
市職員が率先して食品ロス削減活動に取り組み、フードドライブ活動への理解を深めるため、職員向けにフードドライブを初めて実施しました。

12月2日(月)~5(木)に、市役所と消費生活センター(CiCビル)で職員から食品を受け付けました。

【食品の提供先】

「みんなの消費生活展」や市職員から集まった食品(190個、重量46キロ)は、「特定非営利法人フードバンクとやま」からの要請により、12月10日(火)に公益財団法人富山県母子寡婦福祉連合会へ届けました。

【フードドライブのイメージ】



(フードドライブで集まった食品の一部)

10月は食品ロス削減月間です

「食品ロスの削減の推進に関する法律」(略称 食品ロス削減推進法)が、令和元年5月31日に成立しました。

この法律は、食品ロス削減に関し、国、地方自治体、事業者の責務や消費者の役割を明らかにし、国民運動として食品ロスの削減を推進していくことを目的としています。

また、10月が「食品ロス削減月間」、10月30日が「食品ロス削減の日」となりました。

「SDGs」(持続可能な開発目標)との関係について

SDGsとは持続可能な世界を維持していくために、2030年までに達成すべき国際目標として、2015年の国連サミットで採択されました。

SDGsとして掲げられた17の目標のうち、12番目の「つくる責任つかう責任」では、世界の食料廃棄量を半減することを目標としています。

おいしいとやま食べきり運動は、家庭や外出時での食べ残しを減らすことを目的としており、SDGsと同じゴールを目指す取り組みです。



エシカル消費(倫理的消費)をご存知ですか

エシカル消費(倫理的消費)とは、より良い社会に向けた、人や社会、環境や地域に配慮した消費行動です。

具体的には、障害者支援につながる商品やフェアトレード商品(適正な価格で取り引きされた発展途上国の製品)を購入することです。

消費者一人一人が、消費行動を通じて、社会的課題の解決に協力していきましょう。

配慮の対象	具体例
人	障害者支援につながる商品を選ぶ
社会	フェアトレード商品、寄付付きの商品を選ぶ
環境	エコ商品、リサイクル製品を選ぶ
地域	地元や被災地の産品を買う

【「おいしいとやま食べきり運動実行チーム」事務局】

〒930-0002 富山市新富町一丁目2番3号 CiCビル3階

富山市消費生活センター

TEL 076-443-2123 FAX 076-411-9006 <http://tabekiri.jp>